



社会福祉法人 御前崎厚生会  
 特別養護老人ホーム 灯光園  
 電話 (0548)63-3729(代表)  
 FAX 63-4131  
 灯光園デイサービスセンター  
 63-6002  
 灯光園在宅介護支援センター  
 63-5116  
 灯光園居宅介護支援事業所  
 63-5115



## 健康維持

理事長 松下秀夫

高齢者の不安要素として「健康・経済的・孤独」の3Kが言われている。中でも「健康」は自分の努力ではどうしようもない側面や、健康に対する考え方も人それぞれで、生きていく限り永遠の課題でもある。

このような不安を抱えながらも、多くの皆さんは自分に合った適度な運動や社会参加、食の管理等に取り組んでいる。

私も少し剣道をしています。が、身体を動かすためというより、剣友との交流が楽しく精神的な居場所となっている。

今心配なことは、コロナの長期化による「巣ごもり」状況が続いていることである。この原稿が発刊される頃はどうかだろうか。神のみぞ知るであろう。

大切なことは、年齢にふさわしい生活が送れるための取り組みを心掛けたい。  
 がんばろう！



## 楽しく過ごすために

ユニット職員 杉山達哉

灯光園では、二週間に一回ケア会議を行っています。ケア会議とは、一階と二階のユニット

に分かれて各ユニット職員、多職種の方が集まり入居者さん一人ひとりの状況、こんな取り組みをしているが困っている点などについての報告をし、他職員、多職種の方から意見や提案などを話し合う会議です。

各ユニットは、ケア会議での他職員、多職種からの意見や提案を参考にして、入居者さんと一緒に取り組んでいます。

私のユニットの入居者さんに、歩行に不安がある方が居ます。そのことをケア会議で検討したところ、日中に歩行活動を取り組んでみたらという意見があり、それを参考に行いました。

最初は、歩行器を使用しユニット内の居室からリビングまで

を歩いてみようというところから行いました。しかし入居者さんは「運動はしたくない。寝ていたい。」と言い二メートルほどで歩くのを終えてしまいました。

こうしたできなかった点についてもケア会議では「もう少しこうした方がいいのではないか、声掛けを変えてみたらどうか。」と違う視点の意見などもあり取り組みに工夫ができました。取り組みに結果がでてくるとユニット職員同士でも意見交換する機会が増えていきました。

歩行器で歩く取り組みをコツコツと行っていた結果、今ではユニットの外まで歩くことができるようになりました。職員が「少し外へ行きましょうか。」と声掛けをすると「わかったよ。行くよ。」「一、二。」「一、二。」と元気な声も聞かれるようになってきました。ユニットの外へ行くと「今日は外に行ったらいっぱいお花が咲いていたよ。」

「鳩が飛んでいたよ。」と笑顔で言い「綺麗だった?」「良かったね。」と声掛けをすると会話が弾み入居者さんからは散歩が楽しいというのが伝わってきました。

歩行器で歩くことが当たり前に変わり刺激を感じ楽しめることが増えたという成果が出ました。もちろんケア会議で検討したからと言って全てが解決することではありません。取り組みには失敗もあり解決できなかったこともあります。しかし、そんな出来事も経験として次の問題への糧にするよう取り組みます。

私は昨年の四月からこのケア会議の委員長をやらせていただきました。ケア会議を引っ張る側として一年経験を積ませてもらい、入居者さんの生活を豊かにするという本来の目標に少しは近付けたように感じます。

ボランティア活動  
～ありがとう～

## 灯光園デイサービスセンター

十二月

○鈴木 喜夫様 (俳句教室) 一回

一月

○鈴木 喜夫様 (俳句教室) 一回

二月

○鈴木 喜夫様 (俳句教室) 一回

## 灯光園

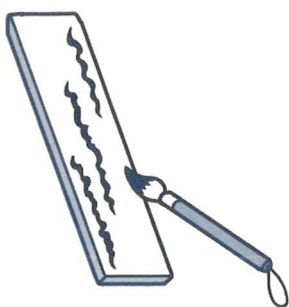
一月

○鈴木理恵子様 (生け花クラブ)

二回

二月

○池谷 武晴様 (油絵清掃) 四回



## リハビリを通じて

機能訓練指導員 谷口結紀

皆さんが思うリハビリとはどんなことですか？歩くこと、体操をすること、脳トレをすること、いろいろありますよね。いつまでも元気に日々を過ごすためにとても大切なことです。

では、皆さんはどんな日々をどんなふうにご過ごしたいですか？毎日の日課をする、好きなことをする、人それぞれの日々があると思います。

いろんな方のリハビリをしていると「昔みたいに運動はできなくなつた。」「昔は歌うのが好きだつたけど、もう歌えないね。」とお話する方がいます。でもそんな方にボールを投げってみると、なかなか早くていい球を返してくれます。小学校の校歌を見せると、大きな声で歌ってくれます。そして「出来るね。」「懐かしいね。」と笑顔でお話します。

私は今年の一月から作業療法士の機能訓練指導員として就職しました。リハビリを通じて皆さんが笑顔でいられるような日々

を支援していきたいと思っています。

コロナ禍のため、多くの方を集めたイベントはできませんが、ユニットごとの小集団で楽しめるリハビリを行っています。春の桜の張り絵をみんなです。協力して作成中です。一時間で終わるはずのリハビリが、作業に集中したり、話が盛り上がりたりして延長することが多いです。リハビリが終わりになると「今日は楽しかったよ。」「ありがとだね。」と嬉しい言葉をかけてくれます。また、運動が好きな方や、訓練が必要な方は、歩行器や平行棒で運動を行います。ベッドから起きることや体を動かすことが難しい方は、居室でマッサージや関節の運動を行います。

これから、その方に合ったリハビリを行うのはもちろん、入居者さんが実は好きなお化粧や、日曜大工、一人では大変なことでもリハビリできたらいいなと思っています。リハビリを通じて皆さんの日々の幸せに携わることが出来て私はとても幸せです。



灯花園デイサービスセンター

## 心と俳句教室

家族みな仲良い暮らし願って生きる

MYさん

猫と犬 私をとりつこして  
かわい日々

TMさん

家族の安全運転祈る  
背戸の道混雑

MSさん

朝晩の般若心経  
教本しっかり読む

HTさん

船乗りは海の歌が好き  
ずっと好き

KKさん

アロエの花 夏貯えて  
冬に咲き

SYさん

赤つつじ  
したたるしずくも赤く見え

SYさん

車窓から微笑む富士を  
眺め行く

風花 久しぶりに降った  
岬の空仰ぐ

AMさん



### 令和三年度苦情受付

①ショート利用者の担当ケアマネジャーより。ショート利用時発熱したので利用を中止し

受診したが、受診時熱がなかったため再度利用を希望した。灯光園へ戻ったが情報が周知されておらず居室を利用できなかった。職員の態度にもいたわりの気持ちが感じられなかった。

↓情報が周知されておらず、十分な対応ができていなかった。ご家族の用事等で利用していた多くも多く、体調不良時の対応については利用前に十分話し合っておく。職員の状態については指導を行う。

②デイサービスセンター利用者より。排泄の失敗を大勢の前で言われ、つらい思いをした。強い口調で言わないで欲

しい。

↓デイサービスご利用者に謝罪するとともに、職員に指導を行う。

③ショート利用者の担当ケアマネジャーより。忘れ物をしたので問い合わせたら、「ありません」と言われた。

↓早番職員が申し送りノートを確認していなかった。必ず確認するように指導を行う。忘れ物については、必ずお詫びの連絡を入れ、お返しする方法について対応を伺うこととした。

④ショート利用者送迎担当職員より。ショート延長の連絡を職員に伝えていなかったの

で、迎えの催促をしてしまい、ご家族が怒っていた。ご家族からの連絡はしっかり伝えておいて欲しい。

る。ショート利用前に確認の電話をいれているが、その時、帰りの日時についても予定と違ってないか再度確認することにした。

⑤入居者家族より。受診時の衣類が季節に合っていないかった。何か準備したほうがいいのか。

↓着脱時に負担がかからない物を着ていただいていた。当日寒かったにも関わらずそのまま出かけてしまっていた。お詫びするとともに、次回受診時に着るものを準備していただいた。

⑥デイサービスセンター利用者家族より。利用中の体調について連絡がなかった。なぜ、連絡しなかったのか説明してほしい。第三者委員会に報告してほしい。

↓対応をお詫びするとともに、

連絡しなかった理由と、今後の対応について説明を行い、納得していただいた。一月二十六日第三者委員会に報告を行った。

以上、六件の苦情がありました。皆様から頂いた内容については、改善するとともに再発の防止に努めます。ありがとうございました。

特別養護老人ホーム灯光園

施設長 八木麻里

### 編集後記

今年は寒暖の差が激しく、やっと暖かな日が続くようになりました。今年こそは、お花見をしながら桜を満喫したいと思います。

